

論文作成にあたって

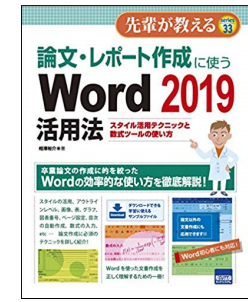
Word を起動し、思い付くままに文章を作成・・・
以後、適当にレイアウト、フォント、サイズを変更・・・
体裁を整えていく・・・



- きれいな文書にはならない
- 長文作成時に破綻する可能性

- ✓ 適切な構造化と配置 (文書構成要素)
- ✓ 一貫したレイアウト体裁 (スタイル)
- ✓ 引用情報の扱い方 (相互参照)
- ✓ 見た目がきれいで読みやすい (文字組版)

参考書



Wordによる長文作成支援機能

スタイル

→ 構成要素ごとに書式設定(スタイル)を統一

アウトラインの番号書式

→ 見出し連番の自動付与

相互参照

→ 文献・図表・章節番号を本文に関連づけ(引用)

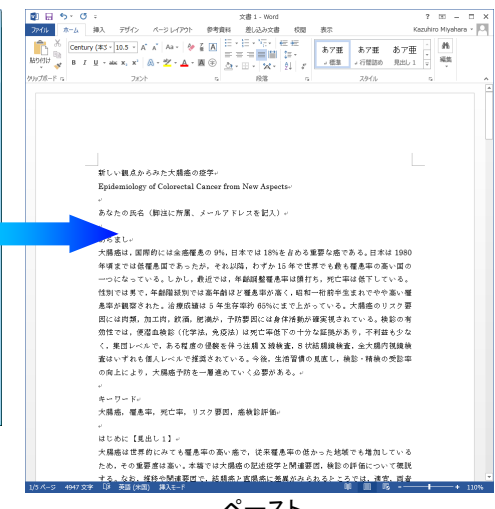
目次の作成

→ 目次の自動作成

準備



ronbun.txt
メモ帳で開き、すべて選択、コピー



ペースト

おかしくなったら

元に戻す



もしくは

Ctrl + Z

手順を確認して再試行

見出しスタイル

(1) 「見出し」スタイルを適用

【見出し行にカーソル → Tab:ホーム → Grp:スタイル → 見出しx】

カーソルを置き「見出し1」をクリック

カーソルを置き「見出し2」をクリック

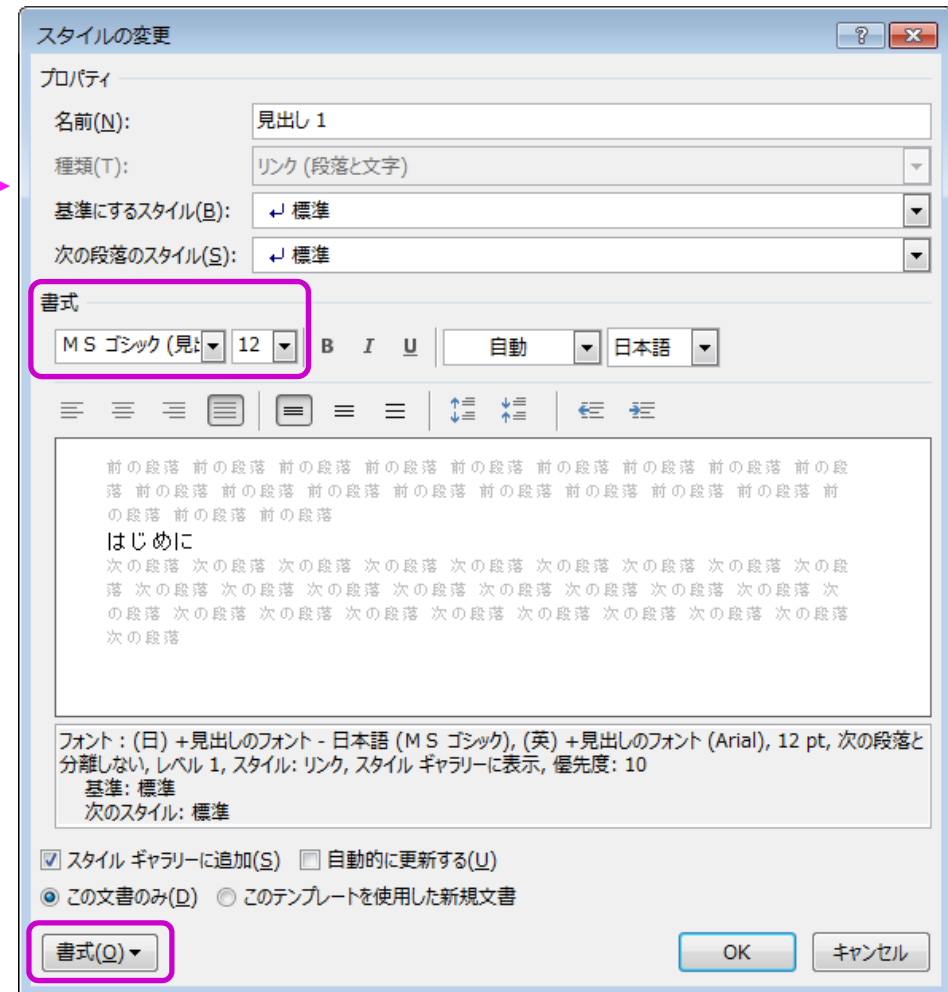
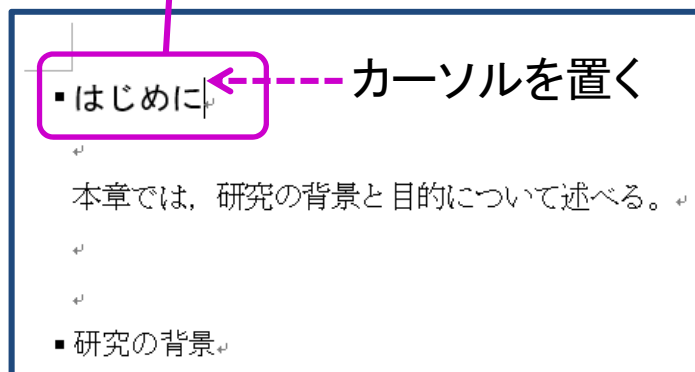
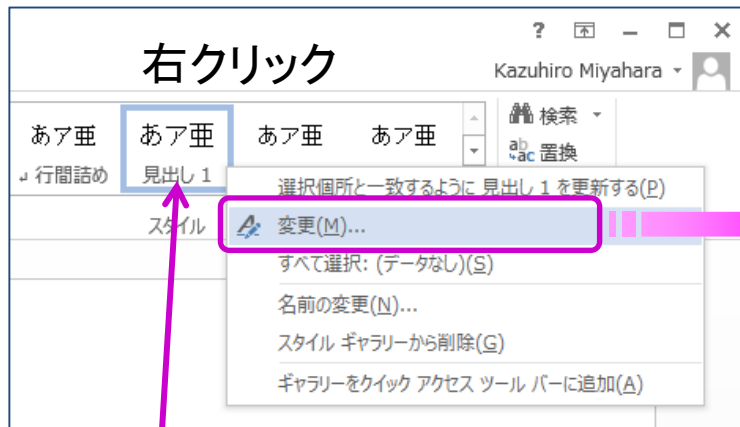
全ての見出しに対して行う

- はじめに
- 本章では、研究の背景と目的について述べる。
- 研究の背景
- インターネットが一般に普及して相当の年月が経過した。

見出しスタイル

(2) 書式を変更

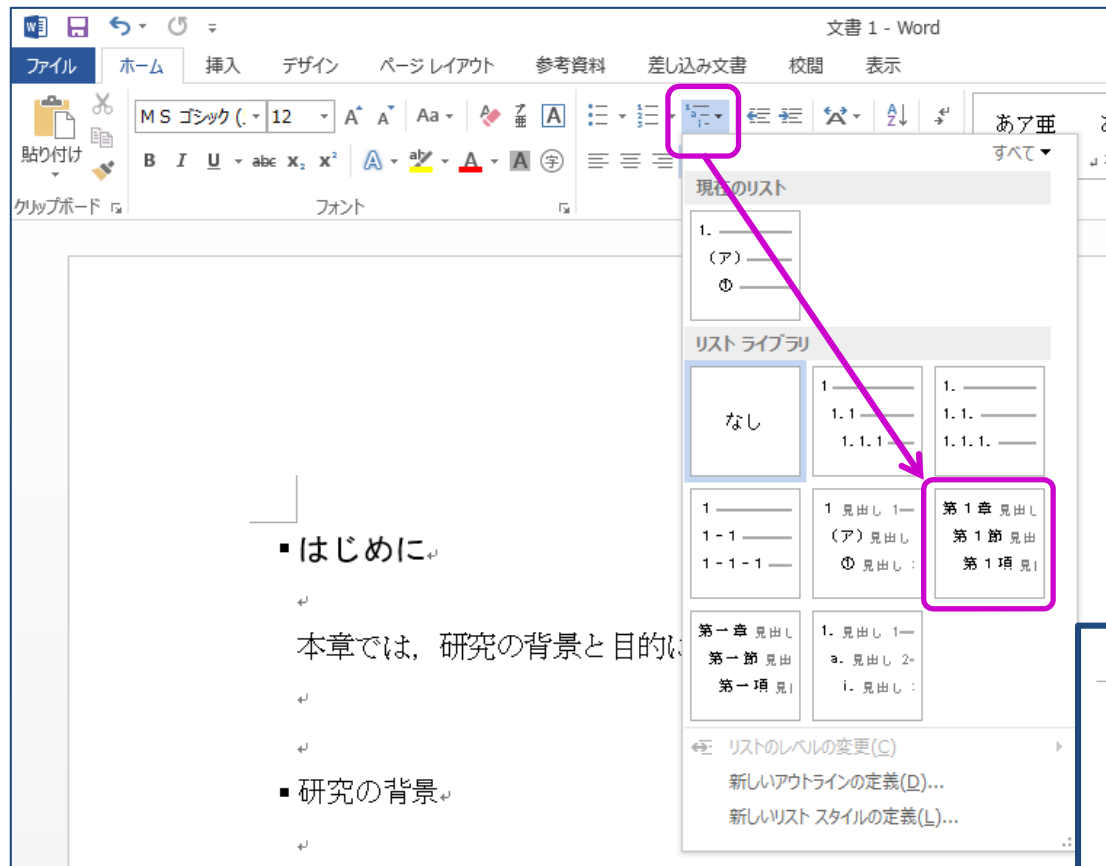
【見出し行にカーソル → Tab:ホーム → Grp:スタイル → 見出しx上で右クリック → 変更】



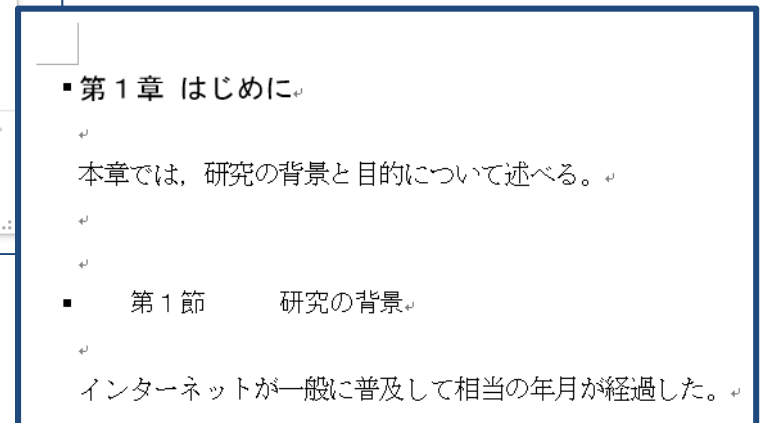
見出しスタイル

(3) 連番スタイルを適用

【見出し行にカーソル → Tab:ホーム → Grp:段落 → アウトラインボタン】



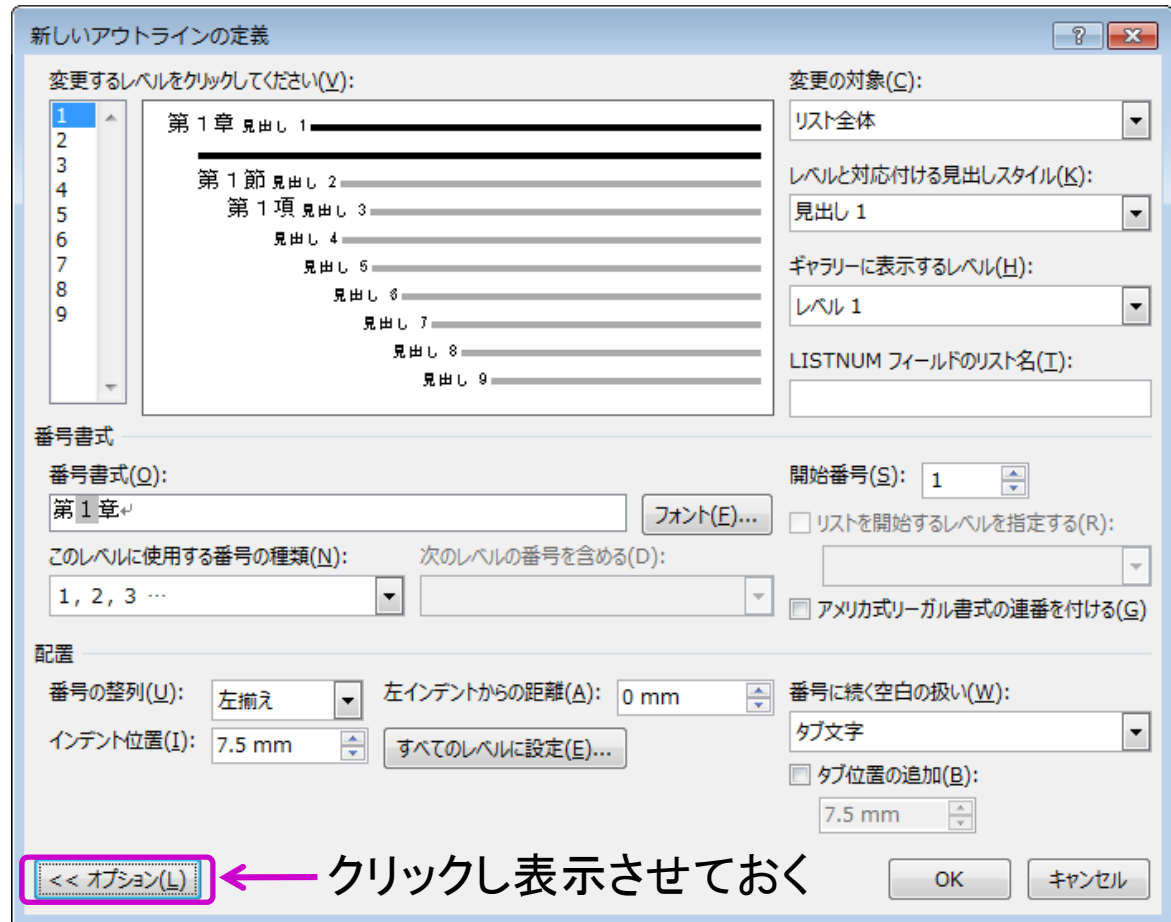
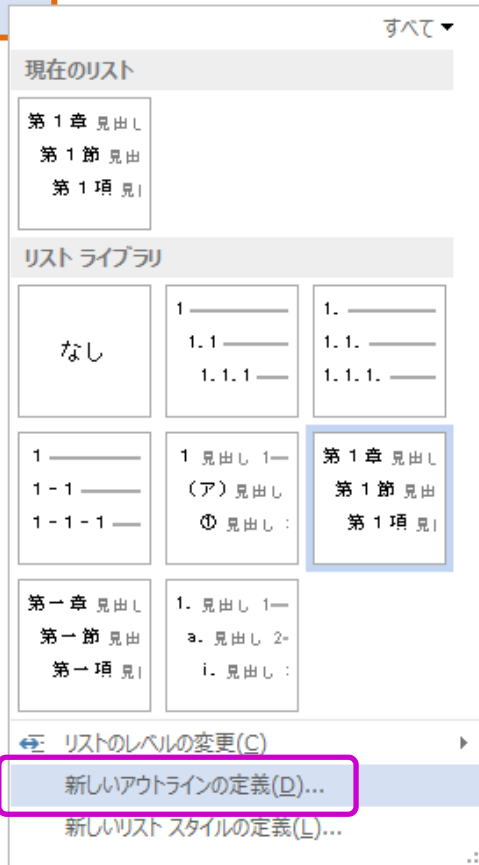
「見出し」という文字列が含まれたものを選択
(どれでも良い)



見出しスタイル

(4) 連番スタイルを変更

【見出し行にカーソル → アウトラインボタン → 新しいアウトラインの定義】



見出しスタイル

新しいアウトラインの定義

変更するレベルをクリックしてください(V):

1
2
3
4
5
6
7
8
9

1. 見出し 1
1.1 見出し 2
(1) 見出し 3
見出し 4
見出し 5
見出し 6
見出し 7
見出し 8
見出し 9

変更の対象(C):
リスト全体

レベルと対応付ける見出しスタイル(K):
見出し 2

ギャラリーに表示するレベル(H):
レベル 1

LISTNUM フィールドのリスト名(I):

番号書式

番号書式(O):
1.1

このレベルに使用する番号の種類(N):
1, 2, 3, ...

次のレベルの番号を含める(D):

開始番号(S): 1

リストを開始するレベルを指定する(B):
レベル 1

アメリカ式リーガル書式の連番を付ける(G)

配置

番号の整列(U): 左揃え

左インデントからの距離(A): 0 mm

番号に続く空白の扱い(W): スペース

インデント位置(I): 0 mm

すべてのレベルに設定(E)...

<< オプション(L)

「レベル」、「番号書式」、
「次のレベルの番号を含める」、
「番号に続く空白の扱い」で調整



- 1. はじめに
-
- 本章では、研究の背景と目的について述べる。
-
-
- 1.1 研究の背景
-
- インターネットが一般に普及して相当の年月が経過した。

相互参照

数字の~~直接~~入力

- ✓ 番号が変わったときには
すべて手作業で修正

内容と~~関連~~付け

- ✓ フィールド更新を行うことにより
すべて自動で更新

前提

引用文献：段落番号を付与したリスト

図表：図表番号の挿入

見出し番号：アウトラインによって番号を設定

相互参照

(1) 番号を挿入

【挿入位置にカーソル → Tab:挿入 → Grp:リンク → 相互参照】

02-論文01.docx [互換モード] - Word

ファイル ホーム 挿入 デザイン ページレイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示

表紙 空白のページ ページ区切り ページ

表 表

画像 オンライン画像 図形 スクリーンショット SmartArt グラフ

ストア アプリ ウィキペディア オンラインビデオ メディア

ハイパーリンク ブックマーク 相互参照

コメント コメント

ヘッダー フッター ページ番号

挿入 テキストボックス テキスト

数式 記号と特殊文字

Kazuhiro Miyahara

2.1 日本の大腸癌の推移

★★★★図 3 個★★★★

★★★★文献参照 2 件★★★★

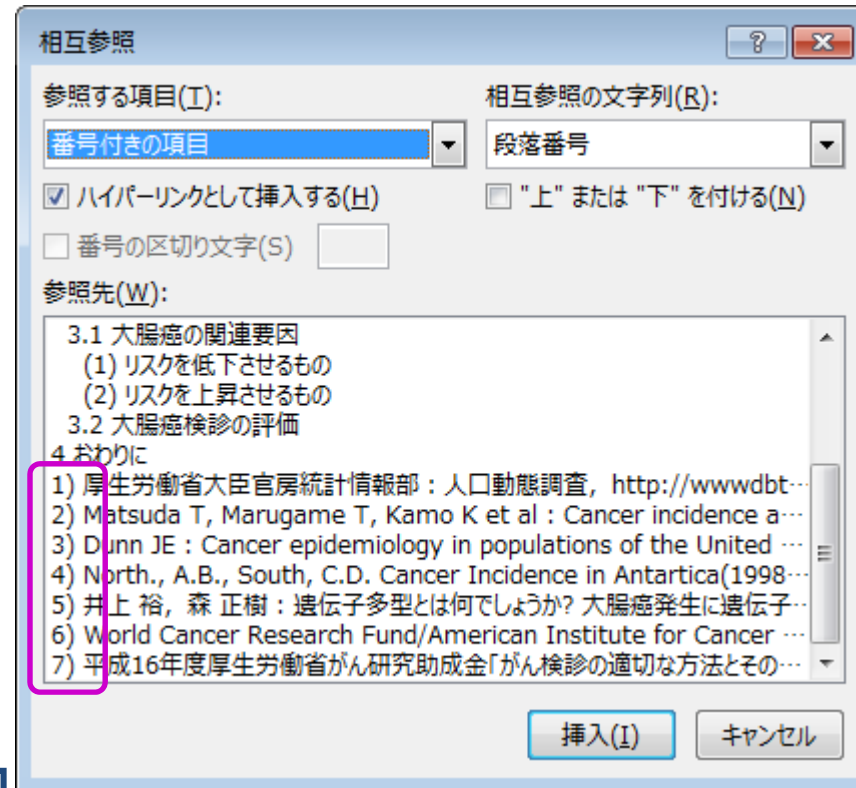
現在、大腸癌は肺癌、胃癌に次ぎ、死亡順位第 3 位であり、癌全体に対する割合は約 13%である。【図 2A】に 1975～2006 年の大腸癌の年齢調整死亡率を示す【[1]】。粗死亡率の一貫した増加傾向とは異なり、1995 年以降、明らかな減少傾向が続いている。この傾向は男の結腸癌でより顕著である。【図 1】で観察された粗死亡率の最近の上昇は、人口の老齢化によるものだと考えられる。一方、罹患数は癌全体の 18%を占め、1 位の胃癌とほぼ並んで 2 番目に多い。【図 2B】に年齢調整罹患率【[2]】を示す。1992

元々書かれていた
【[1]】
といった表記は消す。

1/5 ページ 4787 文字 日本語 挿入モード 140%

最初に末尾の文献一覧に「段落番号」を付与しておく
「その他の手順:(4)」参照

相互参照



選択 → 挿入ボタン



3位であり、癌全体に対して
を示す①【[1]】。粗死亡率
。この傾向は男の結腸癌



不要部分【[1]】を削除
1) のスタイル変更(上付き)などを行う

図表キャプション(タイトル)の挿入

「図1 大腸癌・・・」などと、普通に入力してはいけない

① 図上で右クリック

② 図表番号の挿入(N)...

図表番号

図表番号(C): Figure 1

オプション

ラベル(L): Figure

位置(P): 選択した項目の下

ラベルを図表番号から除外する(E)

ラベル名(N)... ラベル削除(D) 番号付け(U)...

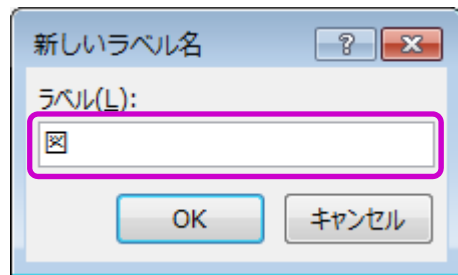
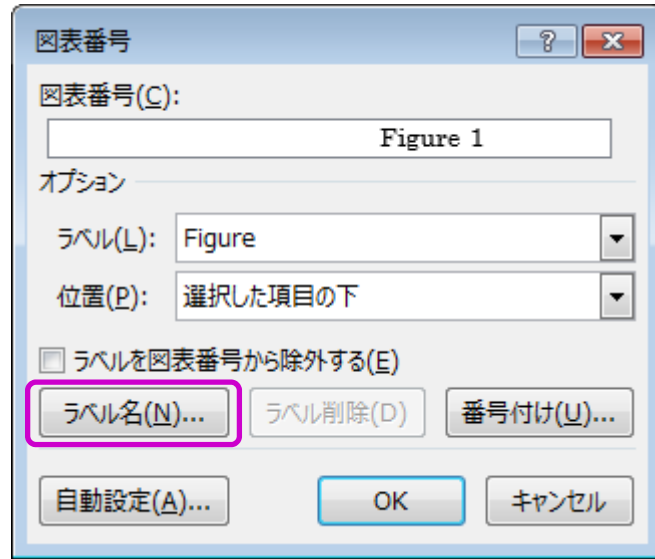
自動設定(A)... OK キャンセル

ラベルが「Figure」「Table」「Equation」(英語表記)しかないので、新しく設定する。

③「ラベル名」をクリック

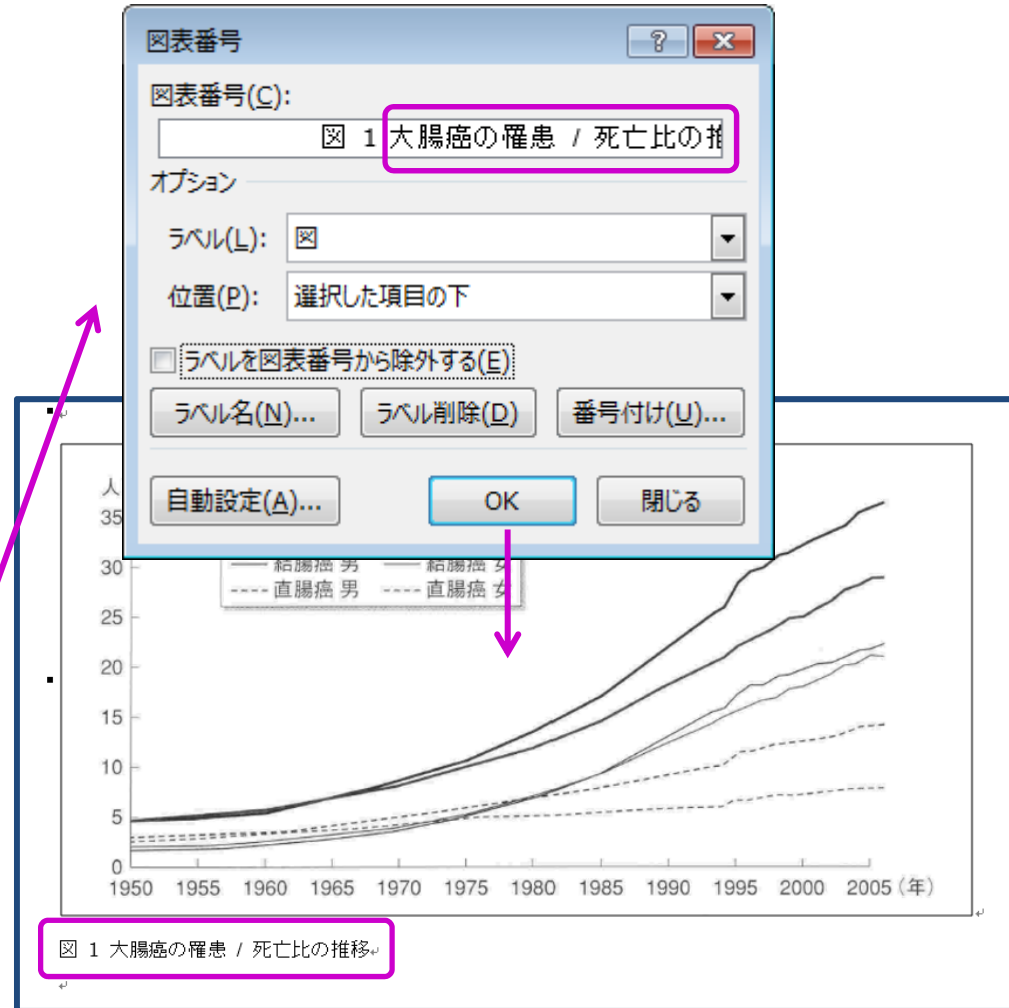
図表キャプション(タイトル)の挿入

③「ラベル名」をクリック



④「図」と入力

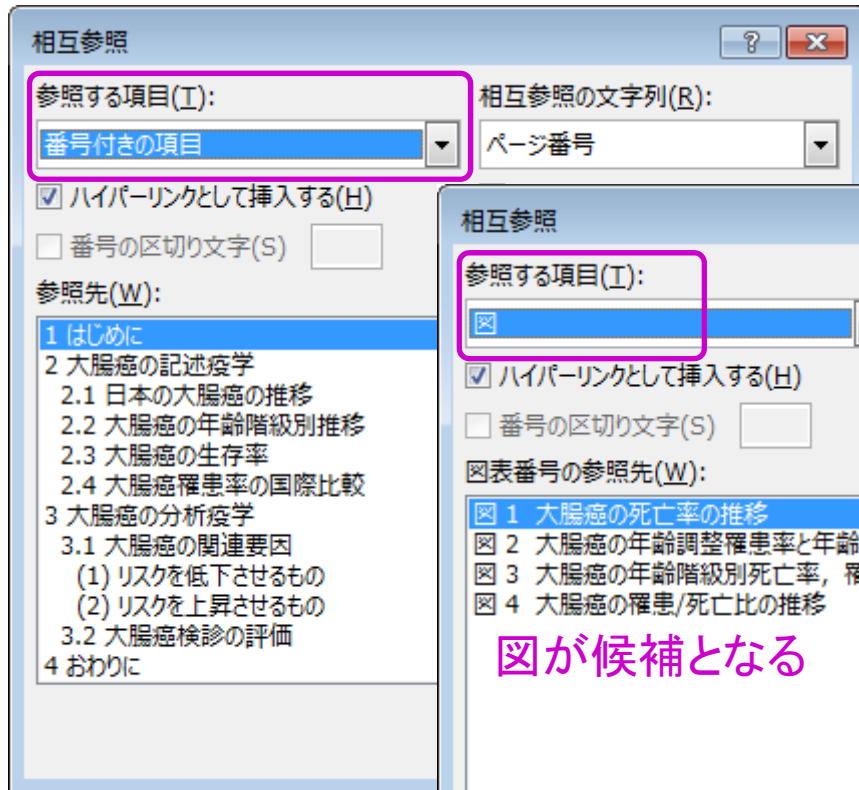
⑤「図のタイトル」を続けて入力



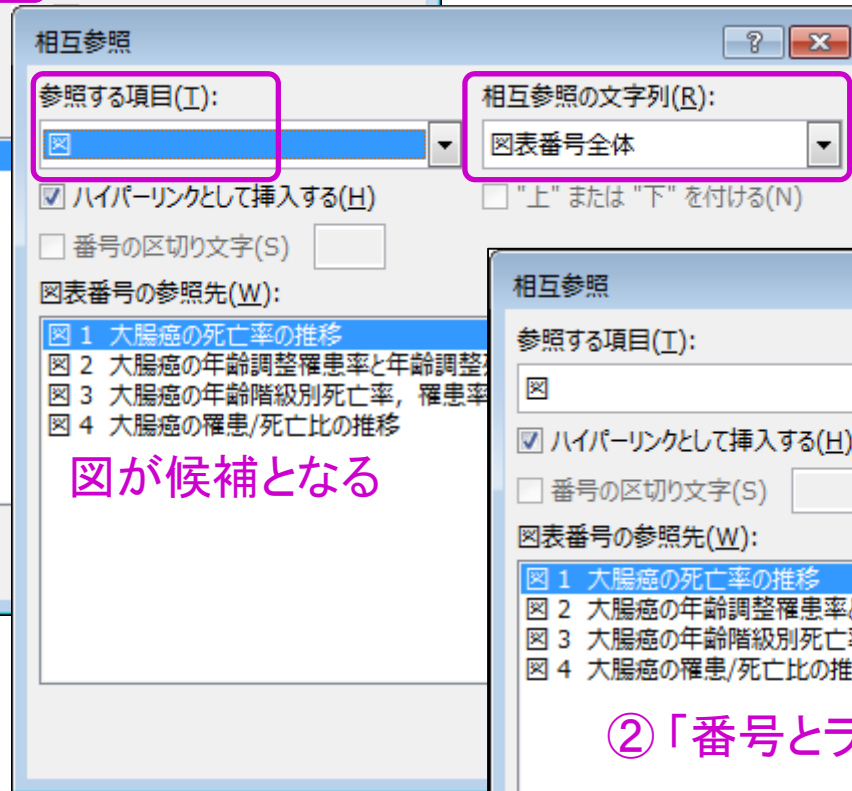
この後、センタリング、書体の変更
(スタイル機能を用いる)

図表番号の相互参照

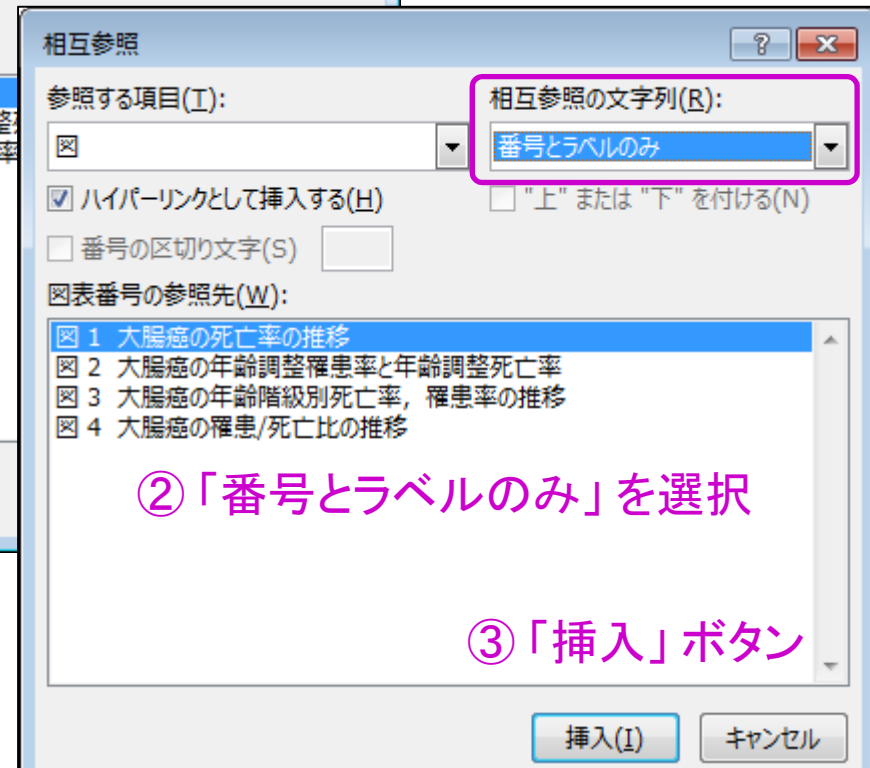
① 設定したラベル(図)を選択



「図表番号全体」のままだと、
番号だけでなくタイトルも挿入されてしまう



② 「番号とラベルのみ」を選択



その他の手順

(1) 脚注

【挿入位置にカーソル配置 → Tab:参考資料 → Grp:脚注 → 脚注の挿入】

(2) ページ番号

【Tab:挿入 → Grp:ヘッダーとフッター → ページ番号】

(3) 目次 要・見出しスタイルの適用

【Tab:参考資料 → Grp:目次 → 目次】

(4) 文献一覧

1. すべて選択し、【Tab:ホーム → Grp:段落 → 段落番号 → 番号ライブラリ】
2. すべて選択し、【右クリックメニュー → 段落 → 段落後の間隔を0.5行に】
3. 項目内での改行は、「Shift」+「Enter」